



平成28年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社フェローテック

代表者名 代表取締役社長 山村 章

(JASDAQ・コード6890)

問い合わせ先 代表取締役副社長 山村 丈

(03-3281-8808)

営業外費用（為替差損）の計上及び第2四半期業績予想と実績との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年3月期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）におきまして、営業外費用（為替差損）を計上いたしました。平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期第2四半期の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 為替差損の計上

平成29年3月期第2四半期連結累計期間におきまして、為替変動の影響により為替差損1,122百万円を営業外費用に計上しました。この為替差損は、主に当社グループが保有する外貨建債権債務を当第2四半期末時点の為替相場による評価替えにより発生したものであり、今後の為替相場の状況により、この額は変動いたします。

2. 平成29年3月期第2四半期連結累計期間予想と実績値との差異（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

| | 売 上 高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------------------|--------|-------|-------|--------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回予想（A） | 37,000 | 2,370 | 1,740 | 1,250 | 40.57 |
| 実績値（B） | 37,650 | 3,376 | 2,107 | 1,033 | 33.56 |
| 増減額（B－A） | 650 | 1,006 | 367 | △217 | |
| 増減率（％） | 1.8 | 42.4 | 21.1 | △17.40 | |
| （ご参考）前期実績 （28年3月期第2四半期） | 33,615 | 1,942 | 1,888 | 1,202 | 39.02 |

3. 第2四半期連結累計期間予想と実績値との差異の理由

売上高は、年初から半導体製造装置向けのマテリアル製品の受注が一定水準で推移したことで計画の通りとなりました。営業利益は、各種製品のミックスの変化により量産効果が向上したことで増加しました。経常利益につきましては、為替相場が円高に進行したため、為替差損が発生しました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、海外子会社からの配当金に係る源泉税の発生や製造設備の一部を廃棄処分したため特別損失を計上しました。

4. 平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

| | 売 上 高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------|--------|-------|-------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回予想（A） | 75,000 | 5,000 | 4,200 | 3,000 | 97.37 |
| 今回予想（B） | 75,000 | 5,800 | 4,700 | 2,900 | 94.12 |
| 増減額（B－A） | － | 800 | 500 | △100 | |
| 増減率（％） | － | 16.0 | 11.9 | △3.3 | |
| （ご参考）前期実績 （28年3月期） | 69,463 | 4,024 | 3,822 | 2,162 | 70.18 |

5. 通期連結業績予想数値の修正の理由

通期業績予想の売上高につきましては、当社グループの属するエレクトロニクス産業において、半導体やFPD製造装置の設備投資や設備稼働率は底堅く推移する見込みですが、太陽電池産業において駆け込み需要の反動から減速感が見られるため、前回予想を据置いております。利益につきましては、円高基調が継続しており、第2四半期連結累計期間の実績値との差異を勘案した予想数値としております。

なお、為替レートは1ドル105円を前提としており、変更はございません。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上